

第15回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時

平成20年6月20日(金)
17:15~18:15

場所

琉球大学法文学部新棟 1階114教室

話題：「迫りくる食料危機と沖縄の農業」

発表者：新城 明久（琉球大学農学部教授）

地球環境の悪化に伴う気象異変、砂漠化および穀物からのバイオ燃料への転用などにより食料事情は一段と逼迫化している。また、輸入食料に対する信頼も揺らいでいる。

沖縄県の食料自給率はカロリーベースで27%、生産額ベースでは56%であるにもかかわらず県民の危機意識はきわめて低く、長寿は地産地消で保たれ身土不二である。また、離島の過疎化は著しく、廃校寸前に追い込まれている。

自給率を上げ農業を活性化するには自給自足を基本にした百姓（ハルサア）への回帰であり、観光農業と観光農学の振興による離島の活性化である。さらに付加価値が高く、人気のあるカニステルやパッションフルーツなどの熱帯果樹の推進は沖縄の農業にとって極めて重要な課題である。

発表者プロフィール



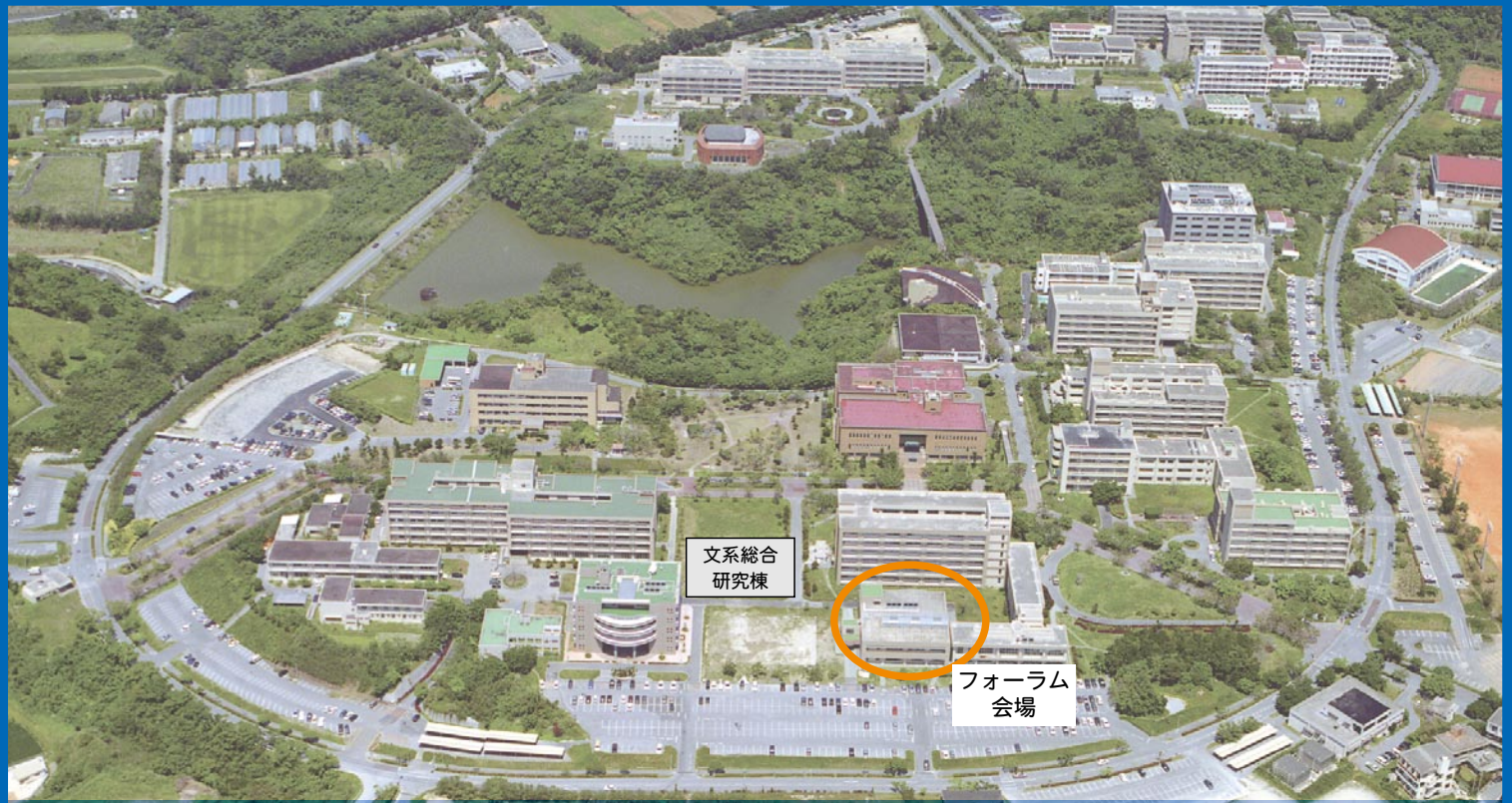
新城 明久
琉球大学農学部教授

略歴

- ・東北大学大学院 農学研究科 博士課程修了
- ・地域技術開発事業事前評価委員(経済産業省)

主な著書

- ・沖縄の自立に向けて
農業・産業活性化へのヒント、新星出版
- ・生物統計学入門、朝倉書店
- ・PC SASによる基礎統計学入門、東海大学出版会
- ・ノンパラメトリック法、金城印刷、他



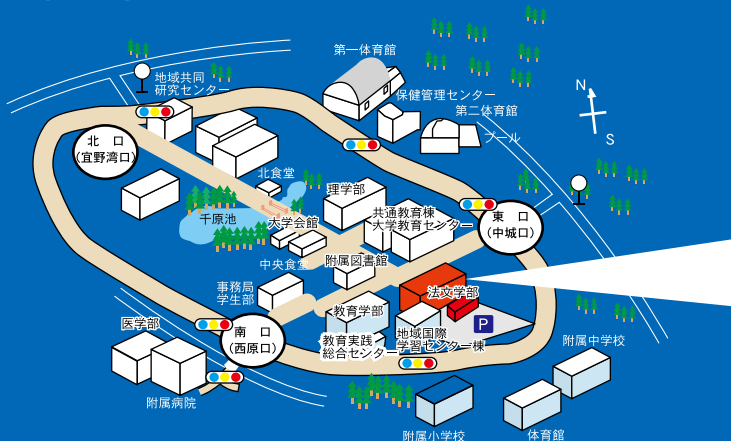
●今後のフォーラム（予定）●

第16回 講師：仲座 栄三（琉球大学 工学部 教授）
 話題：「琉球大学島嶼防災研究センターの設立意義
 - 観光立県沖縄の持続的発展に寄与する沿岸防災技術開発 -」
 日時：2008年 7月 4日（金） 17：15～18：15

第17回 講師：和田 知久（琉球大学 工学部 教授）
 話題：「最先端デジタル通信デバイスベンチャービジネスの沖縄での創業」
 日時：2008年 7月18日（金） 17：15 ～18：15

※なお、学外来訪者をお願いして臨時フォーラムを開催することがあります。

建物配置図



法文学部新棟1階

